

住民協働事業審査会 講評

NO	団体名／事業名	関係課	講評
1	社会福祉法人 翡翠会／認知症カフェ・かきつばたの運営	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着実に事業を展開できているが、イベントを開催していくことで、どのような反応、評価、成果が得られているか、詳しい報告が必要だと思う。</li> <li>・行政との協力は重要なので、今後、さらに自主事業、協働事業を作っていって欲しい。</li> <li>・自団体だけで事業を行うのではなく、認知症家族の会、地域包括支援センター、担当課などと今後も連携できる関係が築けたことは、大きな成果と言える。</li> <li>・目的に「認知症ご本人と家族の思いや苦しみを共有し・・・」とあるが、参加者の声、サポーター養成講座の反応(アンケートなど)はどうだったのか？そのことを知ることが大切だと思う。</li> <li>・高齢化社会で誰もが避けて通れない深刻な課題に認知症の患者さんとその家族への支援にとどまらず、地域住民相互に支え合う仕組み作りとして取り組んでいることが素晴らしいと思うし、地道に成果を挙げていると感じた。</li> <li>・継続して活動していくことを期待する。</li> <li>・長く続けている事業だけあって、少しずつ定着してきたように見受けられる。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で中止は残念だが、今後、どのように対策をして認知症患者や家族をサポートしていくのか、新しい課題ができたと思う。せっかくできたつながりを活かして知恵を絞ってもらいたい。</li> </ul>
2	街資源再興プロジェクト／ハマボウフウ特産品化プロジェクト	農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の計画どおり、着実に事業を展開できていると評価できる。</li> <li>・多角的なアプローチが必要なだけに、拡散しがちだが、何とか一つ一つを結びつけていると思われる。</li> <li>・行政は複数の部署に関連するので、事業の全体像を共有しながら、進めていってほしい。</li> <li>・ハマボウフウの特産品化について、専門性を持って多方面からアプローチできたことを評価する。</li> <li>・生産者の開拓や生産の安定化、特産品として定着させていくことは、今後さらに継続することが必要だと思う。</li> <li>・市の魅力発見、その周知と環境保護の観点で大きな功績を残してくれたと思う。軌道に乗せて行くには、大きな事業費と時間を要すると思うが、協力栽培農家が増えていると記述されているので、地道な活動の継続を願いたい。</li> <li>・様々なノウハウを持っている団体のようなので、情報発信などのスキルで、栽培農家の支援を引続きお願いしたいと思う。</li> <li>・広報活動が成果に結びついて、うまくつながりを作ることができていると感じた。</li> <li>・活動を継続するための原資を補助以外から作り出すためのプロジェクトが最後の最後まで売上高という成果として報告されなかったのが、少々心残りである。</li> </ul>

住民協働事業審査会 講評

NO	団体名／事業名	関係課	講評
3	特定非営利活動法人 リンク／ひきこもり当 事者及び家族の支援	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のフレームとしては、当事者、家族、支援者をうまくつなぐものとなっており、少しずつ浸透が見られてきていると思われる。ただ、これが当事者、特に潜在層にどう届くかが課題である。</li> <li>・“ひきこもり”という視点以外にも入り口を作ってもらいたい。</li> <li>・ひきこもり当事者と家族の支援というテーマについて、市民団体と行政が協働して取り組むことに意義がある。今後、さらに「ひきこもり当事者、ご家族を社会の一員としてともに支え合う仕組みづくり」に向け、活動していくことを期待する。</li> <li>・ひきこもりについて、耳にしたことはあるが、目にすることはないので、卑近な問題として感じてもらえない深刻な課題であるが、政策も乏しく特効薬もない中での地道な取り組みに感謝したい。ますます深刻度を増し、多方面に影響を及ぼしていくと思われる課題なので、むしろ積極的に住民提案型事業というより行政提案型事業が望ましいように思う。</li> <li>・地味だが地道に活動していると感じた。</li> <li>・ひきこもりという当事者以外になかなか理解しづらい“社会現象”に対して、広く意識を向けさせ、また、多くの当事者にもリーチできたことは成果があったといえる。</li> </ul>
4	上谷新田区買物送迎 事業／特定非営利活 動法人買物送迎フレ ンドリー	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着実に事業を展開、浸透できていると思う。</li> <li>・このコミュニティならではの人脈、買物スタイルが効を奏しているのが、一般化はできないが、その工夫点を市内各地で共有されていくことが望ましい。</li> <li>・後継者育成と利用ニーズの醸成が継続の鍵である。</li> <li>・運行方法に改善を加え、地域の人々の利便性を高める努力をしていることを評価する。</li> <li>・ボランティアも増え、一人あたりの負担が減っていることが継続できる鍵になっている。</li> <li>・他の自治体も関心を抱く事業モデルになっていることは良いことである。</li> <li>・需要もあり、事業も定着していて良いが、“市の補助が継続すれば”という前提がとれてしまうと果たしてどうなるか？そのあたりをどのように考えているのか、もう少し報告書の中に表現して欲しかった。</li> <li>・高齢化社会で買い物難民の問題は深刻な課題だと思う。公共交通機関から遠隔な地域に暮らす人が多い当市では一層大きな課題である。いち早く、自主的に取り組んでいることに敬意を表す。</li> <li>・買物支援にとどまらず、高齢者の皆さんのコミュニケーションの機会づくりや支える人たちの生きがい、地域づくり等々の多くの効果が期待できる素晴らしい活動だと思う。</li> <li>・運営費の自主財源づくりも大いに評価できる。</li> </ul>